

## 事業者等ヒアリング結果まとめ

### 1. ヒアリング実施対象

実施対象の事業者とその事業内容は以下のとおりである。

番号	事業者	事業内容
	東芝インフラシステムズ株式会社	エネルギー、受変電システム・産業用システム、水・環境、放送・通信・防災、交通、エレベーターの 6 つの分野と研究開発の主に 7 つの事業を展開
	株式会社ライトボーイ	道路区画線工事、樹脂滑り止め舗装工等の交通安全施工事業
	京王電鉄バス株式会社	バスの運行
	キューピー株式会社	調味料、タマゴ加工品、パッケージサラダを製造

### 2. 実施概要

#### 2.1. 事業活動に伴う環境負荷

事業活動に伴い環境への負荷を与えている事象は、エネルギー消費については全ての事業者に通じているものの、その他については事業ごとに大きく異なっている。

番号	事業者	事業により発生している環境負荷
	東芝インフラシステムズ株式会社	温室効果ガスの発生、エネルギー（電力）消費、産業廃棄物の発生、井戸水の組み上げ
	株式会社ライトボーイ	エネルギー消費、燃料消費
	京王電鉄バス株式会社	燃料消費、エネルギー（電力）消費、CO <sub>2</sub> や大気汚染物質の排出、水資源の利用、汚水の排出
	キューピー株式会社	エネルギー（電力）消費、食品廃棄物、プラスチックの排出

#### 2.2. 環境に関する取り組み状況・成果

##### 2.2.1. エネルギー

- 事業所内の電気や製品（電球）を LED に更新した（事業者 ）
- 太陽光発電を導入した（事業者 ）
- ボイラーと冷凍機を分散型電源に更新した（事業者 ）
- 使用する都市ガスをカーボンニュートラル LNG（液化天然ガス）へ切り替えた（事業者 ）
- トイレを節水型へ更新した（事業者 ）
- エアコンプレッサーの漏れを無くし、また夜間に電力を使用している設備において不要な電源をカットした（事業者 ）
- 一部拠点については、実質再生可能エネルギー由来へ 100%切り替えた。また、太陽光パネルで発電された環境価値付きの電力に今後切り替える予定（事業者 ）

#### 2.2.2.資源（水、廃棄物、ペットボトル）

- 洗車に用いる水の再利用を行っている（事業者 ）
- 野菜くず（キャベツ）の堆肥化、また卵殻を肥料等として再利用している（事業者 ）
- 再生プラスチックをドレッシングのスティックパックの外装に使用することやリサイクルペットを 30%混ぜて製造しているドレッシング容器で販売している（事業者 ）

#### 2.2.3.生態系

- ビオトープを設置した（事業者 ）
- 2011年10月から一年間生物種調査を行い、東京都レッドデータ該当種が28種確認された（事業者 ）

#### 2.2.4.地域活動

- 従業員の家族を対象とした自然観察会を実施した（事業者 ）
- 工場近辺を月に一度、工場のメンバーで清掃している（事業者 ）

#### 2.2.5.定量的な環境負荷の削減効果

- 温室効果ガス排出量は2000年度の基準排出量から30%減少した（事業者 ）
- 産業廃棄物の量について、昔は約4,000トンであったが近年は約3,400トンに減少した（事業者 ）
- 20,000t-CO<sub>2</sub>をクレジットとして東京都へ提供した（東京ゼロカーボン4デイズ in 2020）（事業者 ）

### 2.3.環境に関する取り組みを進めるうえでの課題・苦勞

#### 2.3.1.コスト面

- ビオトープの維持管理が大変である（事業者 ）
- 容器のリサイクルペットについては、輸入する再生プラスチック自体の輸入量が少なく、また単価が高い（事業者 ）

#### 2.3.2.新型コロナウイルスの影響

- イベントが中止となっている（事業者 ）
- 路線バス利用者数が15%程度減少しているため、収益性の観点から慎重になる必要がある（事業者 ）

### 2.4.今後の取り組みの見通し

- 新築と従来建屋のZEB化を進めている（事業者 ）
- 段階的に再エネ電力100%を目指す（事業者 ）
- ハイブリッドバスは、燃費がよく投資回収ができるため、今後割合は高くなる（事業者 ）
- FCバスやEVバスは、技術的なノウハウ取得やBCP対応（V2B）等の側面から導入は進む（事業者 ）
- ゼロカーボンを検討中である（事業者 ）

### 2.5.市への期待・要望・連携の可能性

- 地域の環境イベント等への参画を検討している（事業者 ）
- 再生エネルギーの導入に向けて事業支援を期待している（事業者 ）